

SACとHigg Index 2.0への 東レの取組について

2014年5月20日

東レ株式会社

繊維GR・LI事業推進室

室長 佐々木康次

目次

1. Sustainable Apparel Coalition (SAC)

- SAC概要
- 東レの参加経緯
- SACに参加した所感

2. Higg Index

- Higg Index 2.0の概要
- 東レの対応
- 設問例(環境、社会/労働)
- Higg Indexで評価した所感

1. SUSTAINABLE APPAREL COALITION (SAC)とは

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 3

SACとは

Sustainable Apparel Coalition (SAC)
＝サステナブルなアパレル連合



【設立目的】アパレル・フットウェア製品が環境や社会に及ぼす影響を削減すること。

【2020年に向けたビジョン】

アパレル・フットウェア業界にとって、

- サステナブルな実戦とツールで、これまでにない事業価値とサステナビリティ影響を達成すること。
- Higg Indexがサステナビリティを測り促進するためのグローバルに信頼され調和した業界標準となっていること。
- バリューチェーンと製品ライフサイクルが透明性とアカウンタビリティを達成すること。
- 信頼できるサステナビリティ情報に基づいて消費者が製品を選ぶこと。
- SACが他の業界のモデルになること、すなわちコラボレーションのプラットフォーム・促進者・変革に向けた発言者の先頭に立つこと。

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 4

【設立】

2011年設立。

2009年にPatagoniaとWalmartが提携してサプライチェーンのサステナビリティの評価に取り組み、呼びかけたことから始まった。(http://www.apparelcoalition.org/)

【メンバー】

現在、米国を中心とするアパレル・小売・サプライヤ・学校・研究所・政府機関等110以上の企業・団体がメンバー。(http://www.apparelcoalition.org/current-members/)

日本のメンバーは、アシックス、帝人フロンティア、東レの3社及び経済人コー円卓会議(NPO法人)の計4社/団体。

【役員】

Adidas、Patagonia、H&M、Nike、W.L. Gore & Associates等の民間(営利)企業と、団体・機関から、環境・サステナビリティ・CSR関係の管理職・役員がSAC役員(Chairperson、Director)に就任。

【拠点】米国サンフランシスコ本部。2013年に欧州オフィス(アムステルダム)設置、2014年にアジアオフィス(香港)を開設の予定。

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 5

【活動・ミーティング等】

環境影響と社会労働問題の評価ツール(評価基準)の策定その他に取り組んでいる。日常の活動は各社の専門家が参加する幾つかのWorking Group(別紙)で行っている。

全メンバーが参加可能な会議として、Web上の「月次ミーティング(Full Member Call)」と欧米アジアの持ち回りで年に2回程度の「総会」(Full Member (in-person) Meeting)が開催されている。

[Higg Index]

評価ツール「Higg Index」が開発され、Higg Index 1.0を2012年7月に発表。

小売・アパレル企業の「Brand Module」とサプライヤーの「Facility Module」と製品評価の「Product Module」からなる。(東レはサプライヤなのでFacility Moduleを使う。)

http://www.apparelcoalition.org/higgoverview/

1.0は、アパレルに関するの温暖化ガス排出・水の消費・廃棄物など、環境に関するセルフアセスメントのツール。Excelで定性的な質問に回答してスコアリングする。

2013年の11月に、バージョン2(Higg Index 2.0)がスタート。

2.0は、環境問題に加えて社会労働問題(人権)まで範囲が広がり、アパレルとフットウェアが対象となり、定量的な質問が加わる。また、Webツールになり、ベンチマーキング等の「見える化」が図られる。

今後さらに、各社のスコアの自由な情報共有や比較可能性も実装される方向で進んでいる。

将来的には、入力内容の検証(validation)や、消費者向けラベリング(consumer-facing label)についても検討対象となる見込み。

[Higg Index以外]

リサイクルについての検討プロジェクト(Collective Impact Projects)や、EUの環境フットプリントへの参画(EU Policy WG)など、積極的に活動している。

メンバー例 (ブランドアパレル・小売)

'TORAY'

Innovation by Chemistry

最新のメンバー情報はSACウェブサイト参照: <http://www.apparelcoalition.org/current-members/>

Brands & Retailers:



Copyright 2014 Toray Industries, Inc.

メンバー例 (サプライヤ)

'TORAY'

Innovation by Chemistry

最新のメンバー情報はSACウェブサイト参照: <http://www.apparelcoalition.org/current-members/>

Manufacturers:



Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 8

メンバー例 (NPO・政府機関・大学)

TORAY

Innovation by Chemistry

最新のメンバー情報はSACウェブサイトを参照: <http://www.apparelcoalition.org/current-members/>

Non-Profit, Government & Academia:



Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 9

メンバー例 (研究機関・認証機関・業界団体)

TORAY

Innovation by Chemistry

最新のメンバー情報はSACウェブサイトを参照: <http://www.apparelcoalition.org/current-members/>

Industry Affiliates:



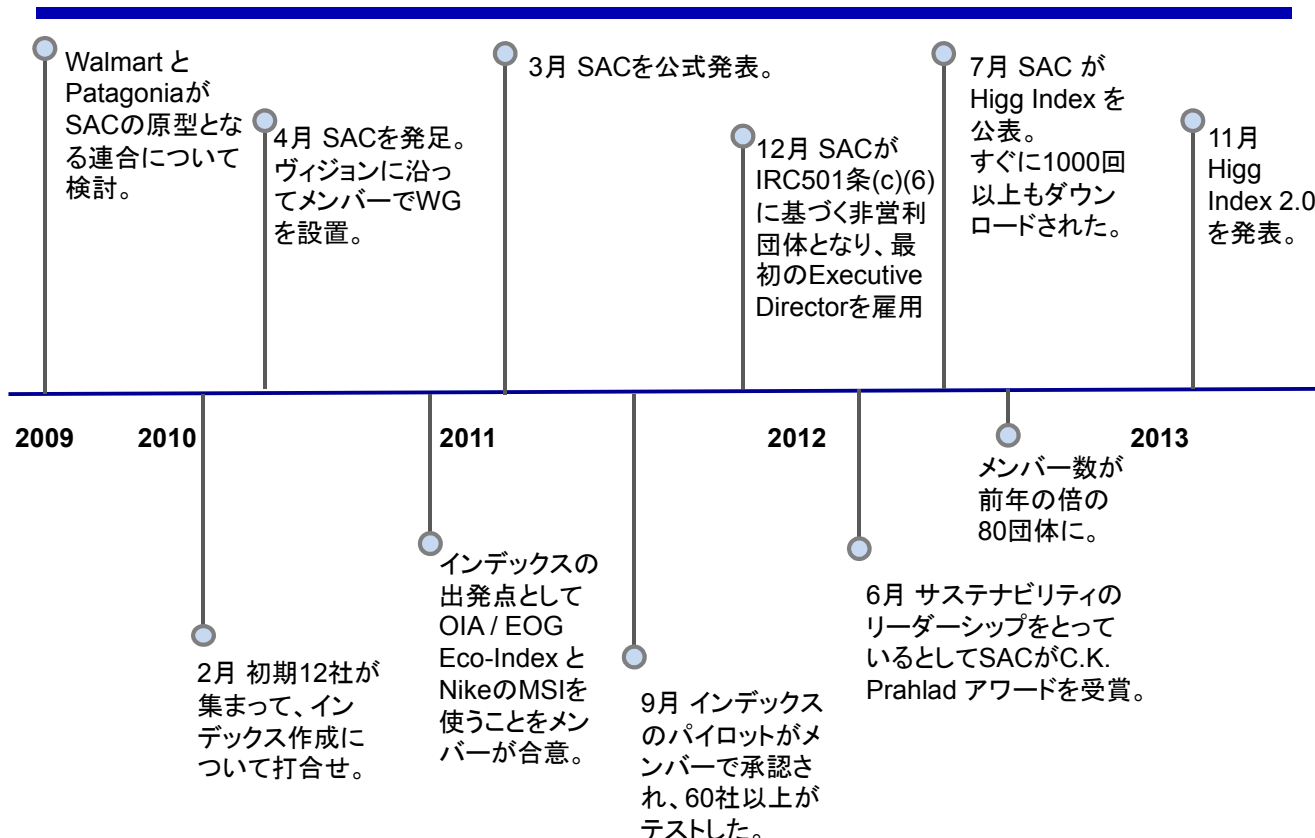
Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 10

- アパレル・フットウェアのブランド・小売・サプライヤ「**企業会員**」(Corporate Members)の加盟は、**随時受付**。
 - 年会費(Annual membership dues)負担あり。
 - 複数ブランドを持つアパレル・小売企業でも、企業単位で加盟(ブランド単位の加盟では無い)。
- **上記以外の関係団体は「提携会員(Affiliate Partner)」又は「NGO、学界、公的機関会員」として参加可能**。
 - 「提携会員(Affiliate Partner)」には、アパレル・フットウェアのサプライチェーン企業会員に製品・サービスを提供する企業、アパレルに関する業界団体やマルチステークホルダー団体を含むが、これに限定されるものではない。
 - 「NGO、学界、公的機関会員」の新規加盟は、現メンバーからの招待/推薦によるものとし、また、メンバーの承認が必要。
- **新規会員は「SACリーダーシップコミットメント」にサインする**。
 - 「幽霊会員」ではなく活動に参加するというコミットメント。

出所: SACウェブサイトをもとに東レ作成

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 11

SACの歴史



出典: SACの資料に基づき東レ作成

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 12

2020 Vision Group: SACの2020年ビジョンに向けた舵取りをする

Adoption Council: 企業がHigg Indexを採用するよう普及を推進

Collective Impact Projects :

製品の廃棄(End of Use)段階での廃棄物削減・再利用・リサイクルに関する協力を検討

EU Policy: EU環境フットプリントのパイロット事業への参画を検討

Index Development Council :

SACメンバーの代表としてHigg Indexの内容や策定方法について意思決定する

Materials (MSI) :

Higg Indexの素材基礎データであるNikeのMaterials Sustainability Index をSACの活動に統合

Metrics: 環境影響評価の計算手法を検討

Validation: Higg Indexの検証の導入と手法を検討

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 13

東レのSAC参加経緯

【加盟のきっかけ】

海外の取引先から紹介を受け、2012年8月に加盟。

【加盟の目的】

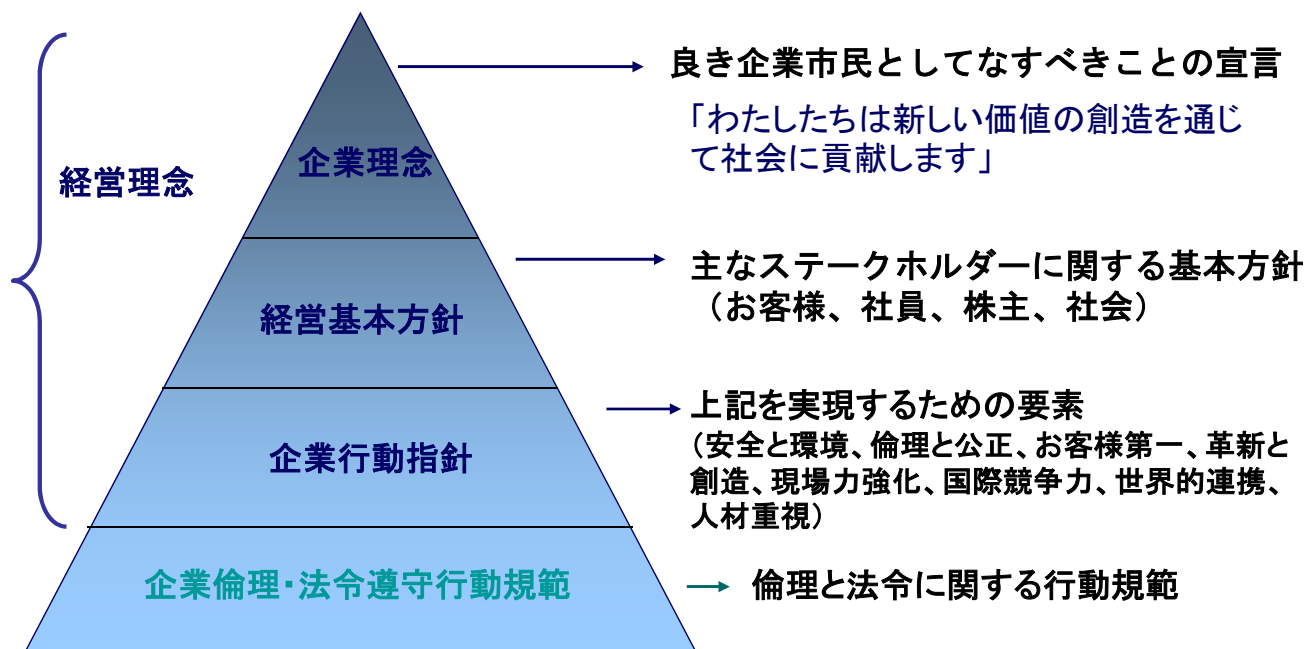
弊社の顧客がSACのキーメンバーとして参加しており、サプライチェーンの重要な一角を担う素材サプライヤとして、基準構築に参加する必要(意義)があると考えたため。

環境に関する業界基準が、アパレル・小売(いわゆる川下業界)だけの視点で策定されるのではなく、川上業界としてHigg Indexがバランスの良いスタンダードになるよう貢献したい。

【参加体制】

東レ 繊維GR・LI事業推進室が意思決定の本部となり、実際の議論・窓口は米国の関係会社(現地シニアスタッフ)が担当

- 東レグループで創業以来本業を通じて社会に貢献する志を掲げ、CSR活動を経営理念の実現そのものと捉えている。



Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 15

- 東レグループでは独自のCSRガイドラインを設け、項目別に担当役員を任命して、PDCAで推進をしている。
- 活動の成果については、全社委員会であるCSR委員会で報告し、CSRレポートやウェブサイトでも社外にも報告している。

東レグループ CSRガイドライン

企業統治と経営の透明性	事業を通じた社会的課題解決への貢献
企業倫理と法令遵守	人権推進と人材育成
安全・防災・環境保全	サプライチェーンにおけるCSRの推進
製品の安全と品質	社会貢献活動
リスクマネジメント	
コミュニケーション	

SACメンバー全員が参加するミーティング・会議

Full Member Call

- Webによる「月次ミーティング」
- 可能な範囲で、東レの繊維グリーンイノベーション室と米国の関係会社で出席

Full Member (in-person) Meeting

- 世界中からメンバーが集まる「総会」
- 欧・米・アジアの持ち回りで年に2回程度
- 可能な範囲で、東レの繊維グリーンイノベーション室と米国の関係会社で出席

SACメンバー全員が参加する投票・サーベイ

Working Group (分科会) 活動

Metrics Working GroupとMaterials (MSI) Working Groupに米国の関係会社のシニアスタッフが参加

Materials (MSI) Working Group

Higg Indexの素材基礎データであるNikeの“Materials Sustainability Index”(MSI)を修正・強化してSACの活動に統合させるべく作業している

Metrics Working Group

環境影響評価の計算手法を検討している

Higg Indexの構築・改善

Collective Impact Projects

拡大チームメンバーとして「Cleverecare」プロジェクトに参加。このプロジェクトは、衣類の手入れをすることで廃棄物をへらすよう消費者を啓発するもの。

2. HIGG INDEXとは

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 19

Higg Indexとは

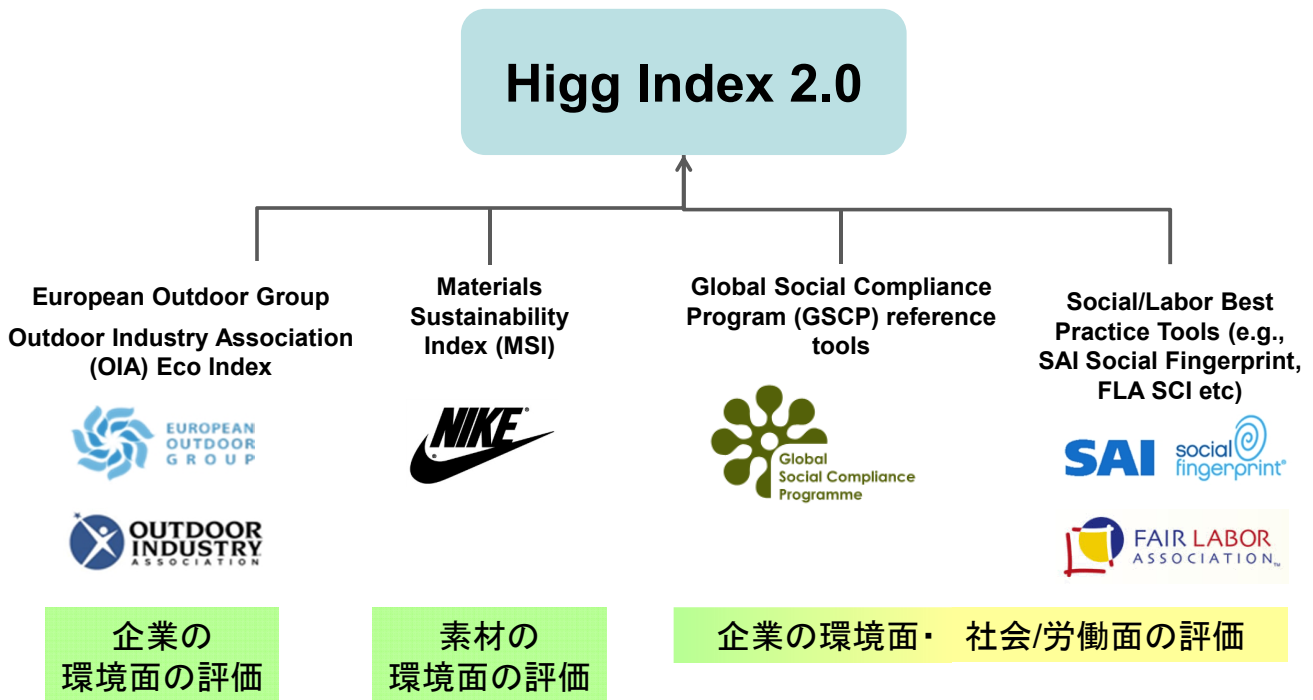
SACが開発した環境影響の評価基準・自己評価ツール

アパレル・フットウェア製品のサステナビリティ
(環境・社会)影響を計量し、理解する

アパレル・フットウェア業界におけるサステナビリティ計測
の重複を大幅に削減する

リスク低減と非効率性の発見を通じて事業価値を
推進する

サステナビリティについてのステークホルダー
(利害関係者)とのコミュニケーション手段を作り上げる



出典: SACの資料に基づき東レ作成

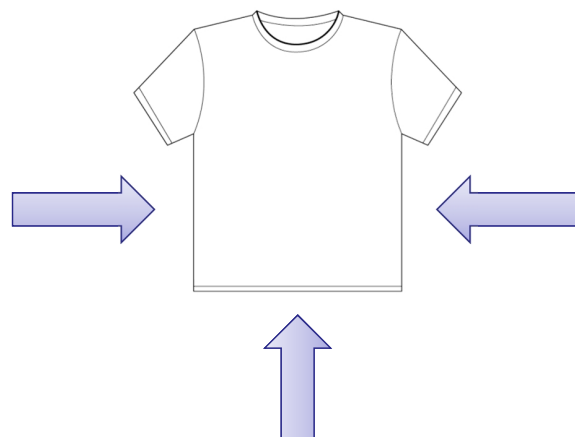
Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 21

製品の環境影響・社会影響の測り方



工場(製造者)

衣類の製造工場は環境影響(水使用、廃水、エネルギー、大気排出、廃棄物、化学物質、等)を測定・探知・減少させるためのポリシー／プログラムを持っているか？



製品

使われている素材の影響はどのようなものか？
製造工程はどれぐらい効率的か？
製品寿命の終点(廃棄段階)で何をするか？

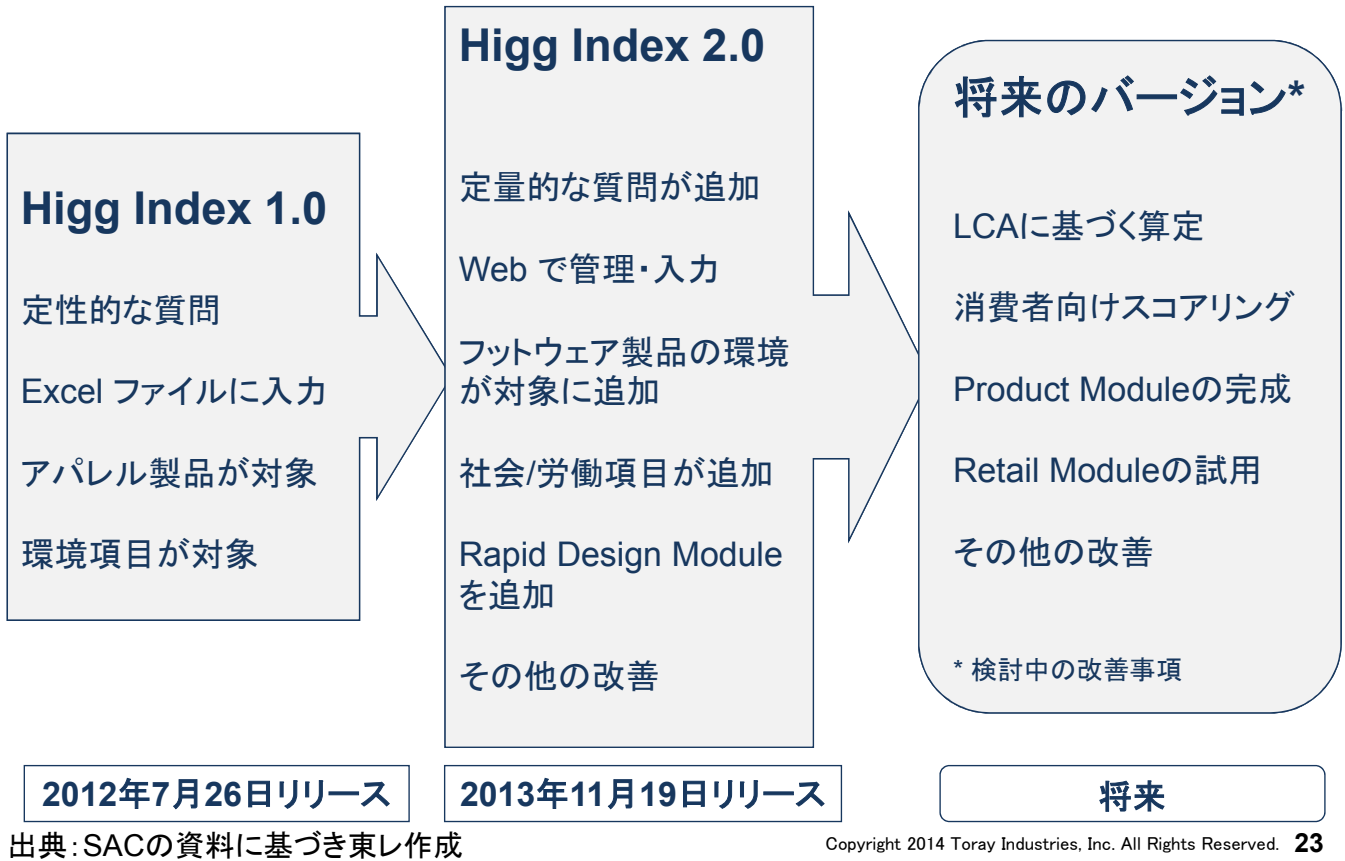
ブランド(企画・販売者)

アパレルは製品の影響を意識しているか？
影響低減のためのポリシー／プログラムの仕組みを作っているか？

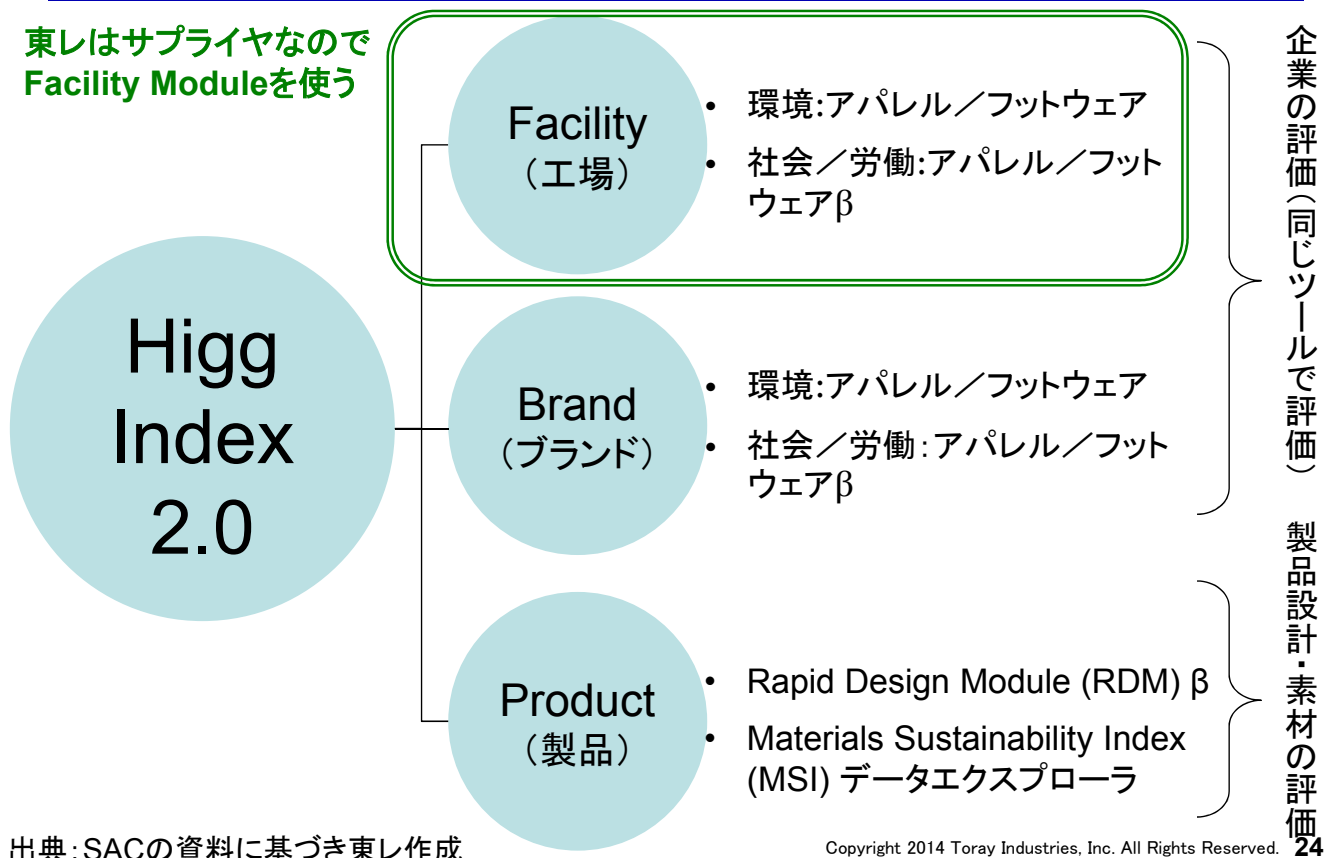
出典: SACの資料に基づき東レ作成

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 22

Higg Indexの進捗



Higg Index 2.0の構成

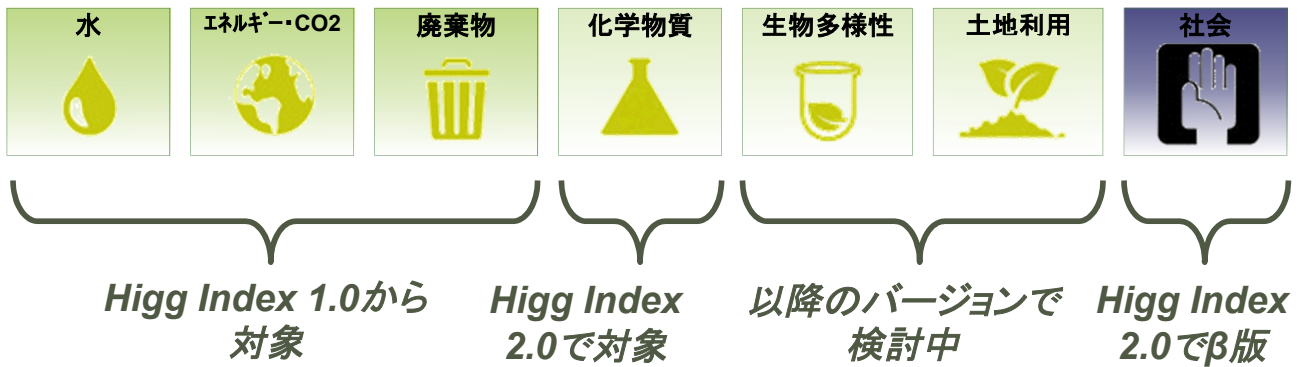


Higg Indexで何を測るのか

環境影響・社会影響がどこで発生するか



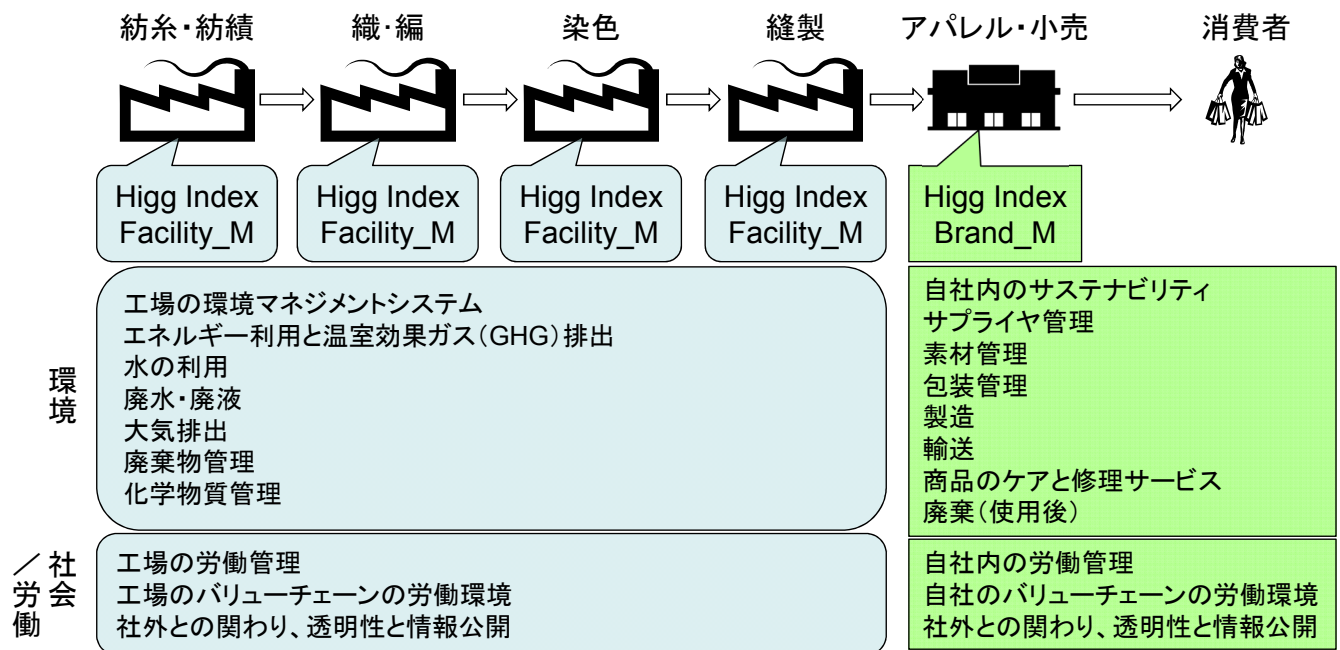
どんな影響に取り組むか



出典: SACの資料に基づき東レ作成

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 25

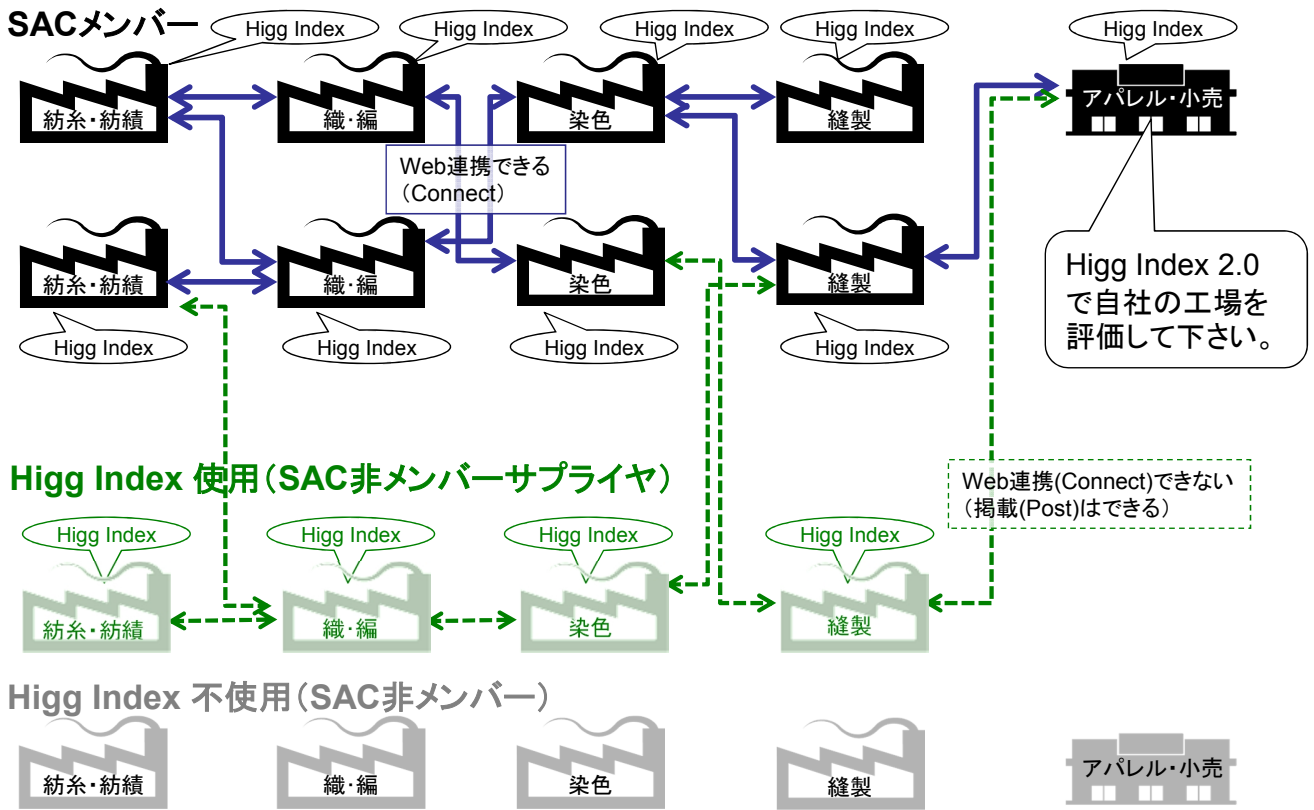
SACが想定するサプライチェーン全体のサステナビリティ確保



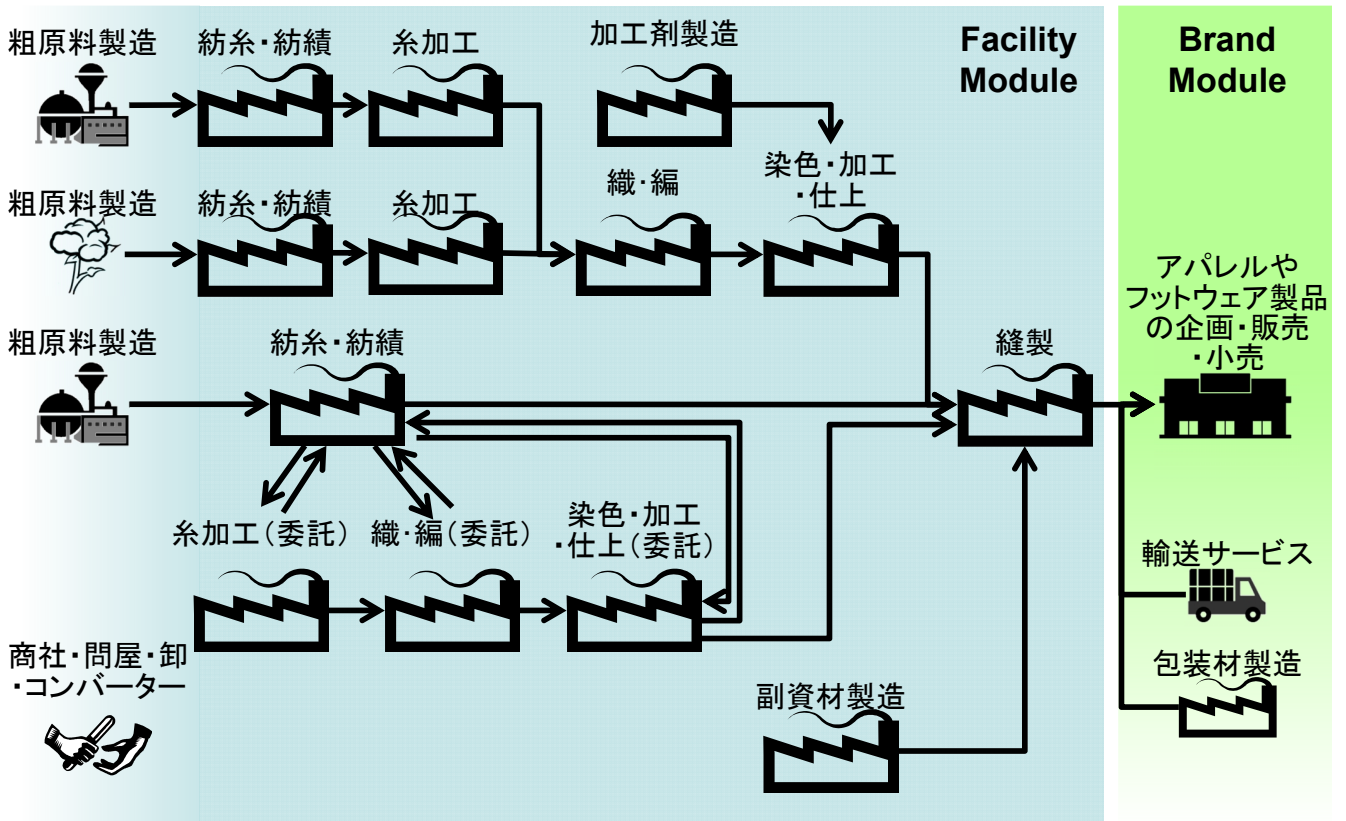
サプライチェーンの各企業がサステナブルな事業運営を行い、それをつなげることで、消費者にサステナブルな製品を提供する。

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 26

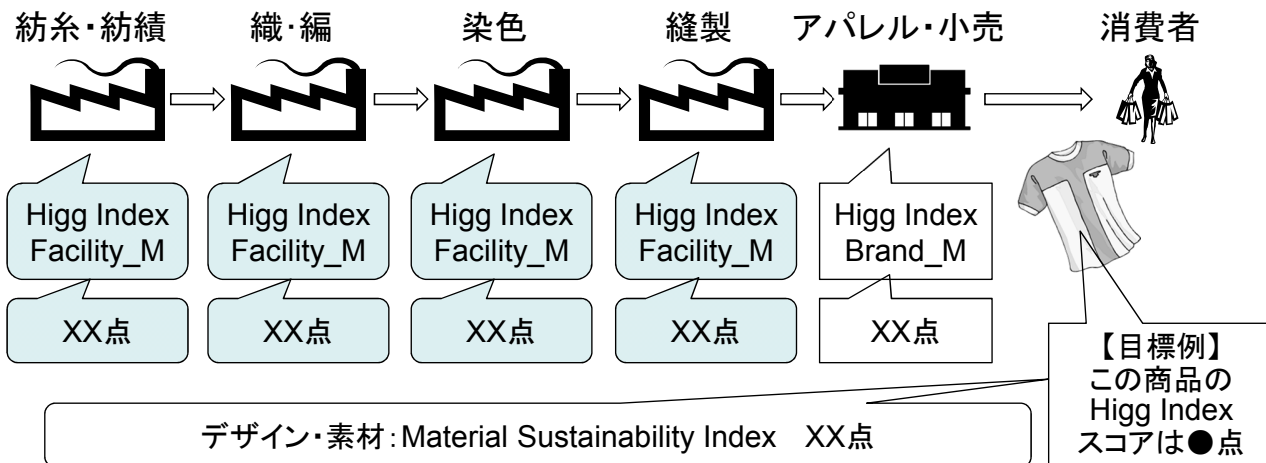
SACが想定するサプライチェーン全体の **'TORAY'** サステナビリティ確保 (Higg Index 2.0) Innovation by Chemistry



Higg Index (BrandまたはFacility) に関わる **'TORAY'** 産業・企業 Innovation by Chemistry



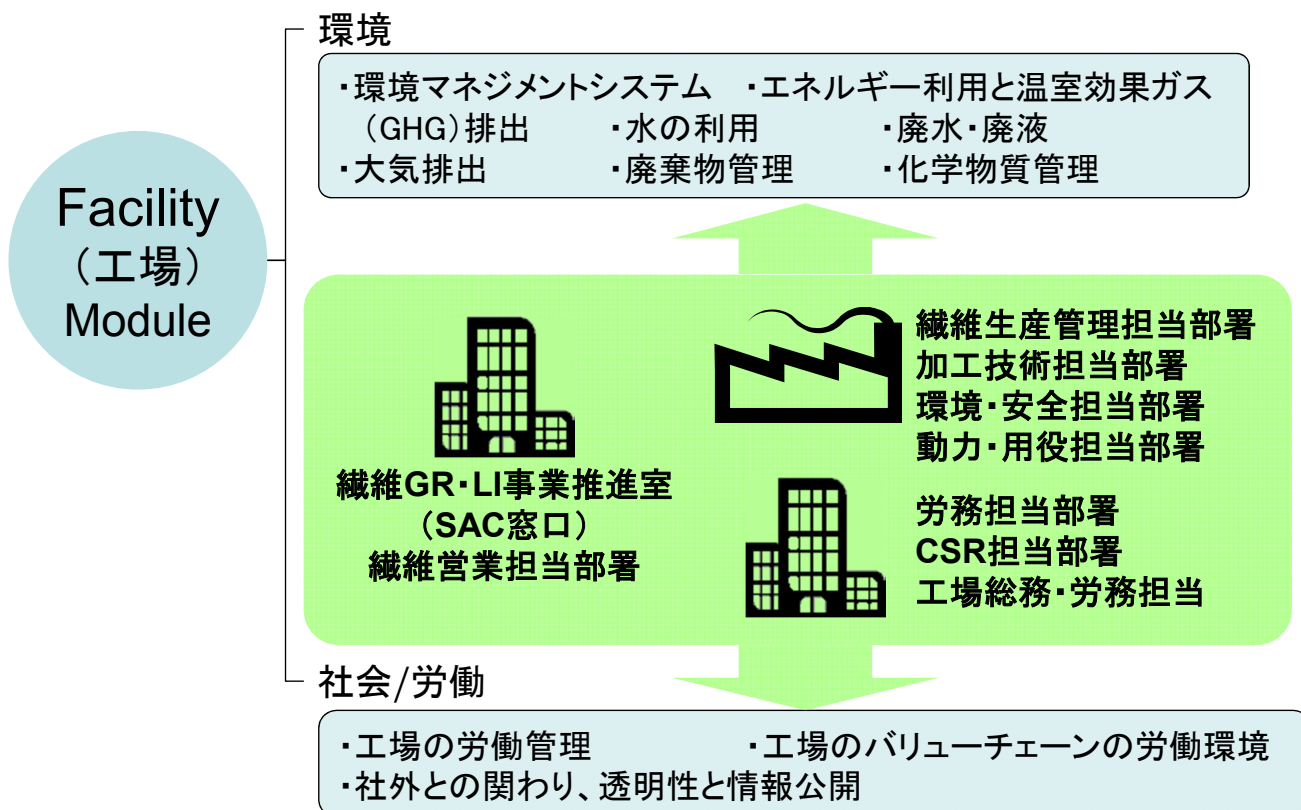
SACが想定するサプライチェーン全体の サステナビリティ確保【目標】



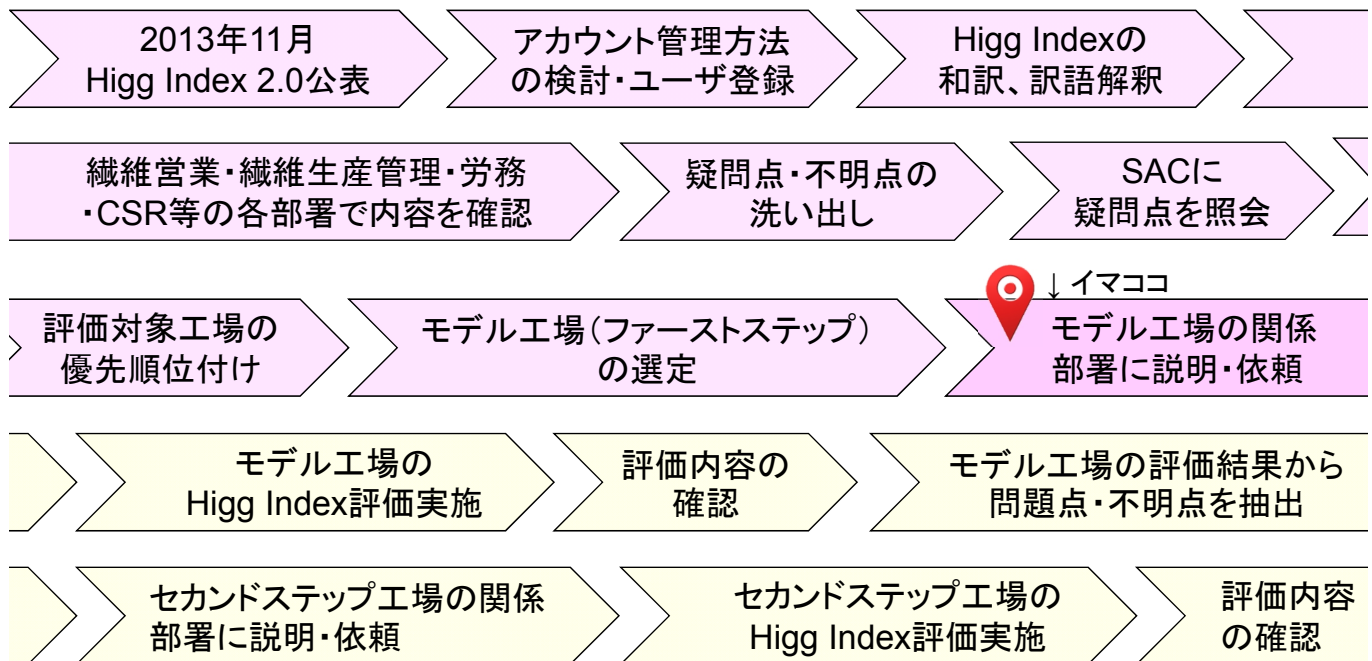
サプライチェーンを最初から最後までHigg Indexでつなげて、消費者に製品のサステナビリティを示せるのが目標

【まだまだ発展途上】
どのように点数を付ける？ 何を重視する？
各社の点数をどのようにつなげる？
本当に実態を反映しているのか？

Higg Index 2.0への東レでの対応



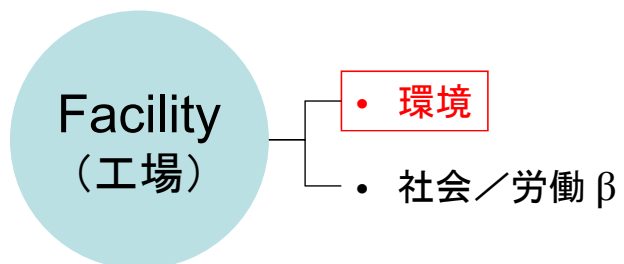
解釈の齟齬を避け、回答の正確さ・妥当性を確保するため
ステップバイステップで展開



Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 31

Higg Index 2.0 Facility Moduleの設問例 環境(仮訳)

1. 環境マネジメントシステムまたはプログラム
2. エネルギーの利用と温室効果ガス(GHG)の排出
3. 水の利用
4. 廃水・廃液
5. 大気排出
6. 廃棄物管理
7. 化学物質管理



Higg Index 2.0 Facility Moduleの設問例

環境(仮訳)

1. 環境マネジメントシステムまたはプログラム

回答ガイダンス グローバル・ソーシャル・コンプライアンス・プログラム(GSCP)環境実施ガイドラインを参照:各事業所は、環境マネジメントシステム(EMS)を導入することにより、環境に及ぼす影響を特定、監視、制御することができます。企業によっては、自社EMSをISO14001や環境管理・環境監査スキーム(EMAS)など、国際規格に適合させて認証を取得するところもあります。

[後略]

- FAC-1.1.1 事業所が環境に及ぼす影響(良い影響・悪い影響)を把握していますか？
はい→事業所が及ぼす影響のうち最大のものは？
- FAC-1.1.2 経営チームに環境マネジメント活動の専任担当者が1名以上いますか？
はい→担当者の氏名・職位・連絡先を記載して下さい。
- FAC-1.1.3 事業所に、業務に必要な環境規制や許可をモニターするプログラムやシステムがありますか？
はい→事業所は、どの環境分野の許認可を受けていますか？(例: 廃水、有害廃棄物など)

Higg Index 2.0 Facility Moduleの設問例

環境(仮訳)

1. 環境マネジメントシステムまたはプログラム

FAC-1.2.1 事業所が環境に及ぼす影響の理解や改善継続を目的とした正式な環境管理システムやプログラムがありますか？

はい→

事業所の環境管理システムまたはプログラムについて、主なポイントを説明してください。

経営幹部はシステム、プログラムをどのぐらいの頻度でチェックしていますか？

[後略]

- FAC-1.3.1 事業所は、製造サプライヤーや下請け業者の評価を行い、当該業者と協力して、影響分野(例えばエネルギーや温室効果ガスの排出、水の利用、廃棄物)におけるパフォーマンス向上に努めていますか？

⋮

設問は3つのレベルで設定

X.1.X...レベル1: 気づきと理解

X.2.X...レベル2: 管理と改善計画

X.3.X...レベル3: サステナビリティと改善を示す

5. 大気排出

回答ガイダンス 大気排出とは、以下のような汚染物質の放出を意味します。

- 煤塵・粒子(PM10、PM2.5) - 通常、燃料の燃焼、紡績、合成繊維の製造に伴う
- 各種の窒素酸化物(NOx) - 通常、燃料の燃焼に伴う
- 各種の硫黄酸化物(SOx) - 通常、燃料の燃焼に伴う
- 揮発性有機化合物(VOC) - 通常、織物の仕上げ、溶剤、接着剤、織物へのプリント、テントフレームに伴う
- オゾン層破壊物質(ODS) - 冷媒、多くの衣類用しみ抜き剤、一部の接着剤、溶剤に含まれる

[後略]

FAC-5.1.1 事業所について、大気排出の一覧(インベントリー)とその出所を把握していますか？
はい→事業所の空気中への主な排出物は？

FAC-5.1.2 事業所からの大気排出は、認定を受けた専門家やラボが定期的に検査、監視を行っていますか？
はい→検査を行う頻度はどのくらいですか？
要求に応じて、検査報告書のコピーを提供できますか？

・
・
・

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 35

7. 化学物質管理

回答ガイダンス このセクションでは、事業所での化学物質の管理について述べます。化学物質は、事業所における次のような工程や製品に伴って利用されます。

- なめし工場のなめしおよび脱脂工程
- 各種事業所での染色工程
- クリーナー、洗剤、溶剤、柔軟剤
- トリム工場のクリーナー・研磨剤

[後略]

FAC-7.1.1 [優れた取組についての質問。点数はつかない]
事業所でアウトドア産業協会(Outdoor Industry Association)のChemicals Management Module “Supplier” 指標を利用して化学物質管理パフォーマンスを評価していますか？
はい→最新の評価のスコアは何点？

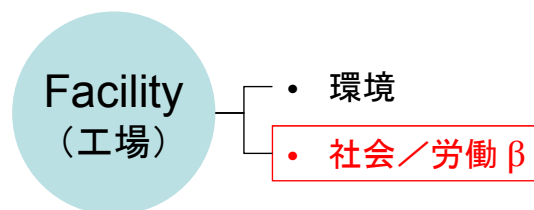
FAC-7.1.2 コンプライアンスの確認やコンプライアンス条件の追加変更内容を把握するため、事業所で、該当する化学物質利用規制を計画的にチェックしていますか？
はい→担当者の氏名を記入。

・
・
・

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 36

セクション 1: 事業所の労働・事業所パフォーマンスの管理

- SL-F-1.1 募集と採用
- SL-F-1.2 報酬
- SL-F-1.3 労働時間
- SL-F-1.4 労働者の参画とコミュニケーション
- SL-F-1.5 労働者の処遇と能力開発
- SL-F-1.6 健康と安全
- SL-F-1.7 解雇と人員削減



セクション 2: 事業所によるバリューチェーンの労働環境パフォーマンス管理

セクション 3: 社外との関わり、地域社会の影響、透明性と情報公開

- SL-F-3.1 社外との関わりと協力関係
- SL-F-3.2 地域社会の影響
- SL-F-3.3 透明性と情報公開

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 37

セクション 1: 事業所の労働・事業所パフォーマンスの管理

SL-F-1.1.1 事業所の募集・採用責任者について該当するものを全て選んで下さい。

- 事業所が、募集と採用に明示的な責任や説明責任を持つ個人または部門を任命している。
- 採用担当者や担当部門が継続的に研修を受けている(該当するものを全て選んで下さい。)
 - 募集・採用の実施
 - 労働関連法令
 - 雇用契約の必要条件...
- 経営幹部が、雇用契約上および適用法上の必要条件について研修を受けている。

[後略]

・
・
・

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 38

セクション 3: 社外との関わり、地域社会の影響、透明性と情報公開

SL-F-3.1.1 外部機関や他の事業所と行う情報共有やパートナーシップの取組について、最もよく表しているものはどれですか？該当するものを全て選んで下さい。

- 事業所が、共通・共同研修を行うため他の事業所と協力している。
- 事業所が、バリューチェーンのリスクや課題を把握するためマルチステークホルダーのフォーラムや業界フォーラムに参加している。

SL-F-3.2.1 事業所の地域社会への関与について最もよく表しているものを全て選んで下さい。

- 事業所が、地域の社会的問題改善について具体的目標を定め、達成状況を追跡している。→具体的に書いてください。
- 事業所が、過去12カ月間に地域奉仕イベントのスポンサーになっている(費用負担または主催)。→具体的に書いてください。

[後略]

・
・
・

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 39

加盟による利益(所感)

● 顧客との関係強化・ビジネス開拓、新規顧客開拓の足がかり等、営業活動に直結した利益。

- 例: 米国大手スポーツN社向けの環境配慮型製品の商売。
- ← SAC加盟による信頼感の向上を背景に、ビジネスにつなげる。商談で顧客からSAC活動についての話題が出る。

● 「守り」のCSR活動から「攻め」のCSR活動への転換。

- 「何か言われたら対応する」姿勢から「自ら良くする、リードする」姿勢への転換、意識改革の契機。
- ← 社内の意識改革・活動強化はこれから。

● 国内メンバーとの協力関係。

- ← 他社の取組を参考にできる。

● 社内の関連活動を連携できる。

- ← 繊維生産管理、用役管理、環境・安全、労務等それぞれで実施していた環境問題対応・CSR活動をHigg Indexという切り口で連携。

ある程度の手間暇・コストがかかる。しかし、それだけの価値がある。

- 国内では想定していない状況の設問がある。(欧米型の基準)
 - 例:(社会・労働):読み書きできない労働者が雇用契約内容について十分な説明を受けているか?
弊社では読み書きできない社員の入社を想定した内規はない。
- 国内工場・海外工場とも、国内法・現地法の遵守だけではカバーできない箇所がある。(法律より一歩進んだ基準)
 - 例(環境):各取水源からの利用量とその計測方法は?
公共水道(飲料水、工業用水)、地下水・井戸水、地表水、
再利用水(手洗い水をトイレや修景用水などに再利用)...
- 国内外全工場・関係会社で一斉に開始するのは無理。
 - 優先すべき会社からステップバイステップで進める。
 - 担当者も勉強が必要 → 改善につなげる。
 - 委託先への展開は?繊維以外の製品もある工場はどのように計測?

まず評価してみて、改善できるところを探す。
社内の手法・構成を替える必要があるところは、関係者と慎重に検討。
まずは「気づき」と「改善」。

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 41

Higg Index関係の活動

1. Metrics WG・・・製品の環境負荷を算定するための、LCAを基礎とした計算ルール(Product Category Rules (PCR))と、計算結果に基づく環境製品宣言(Environmental Product Declaration(EPD))のやりかたを開発。
→将来的には、Higg Indexに載せる目標。
2. Index Development Council・・・Higg Index策定の方向づけを担う意思決定機関。
3. Adoption Council・・・Higg Indexをサプライチェーンで採用するよう働きかけ、利用者へのトレーニング実施やトレーニングツール・説明資料の作成を行う。
4. Verification WG・・・Higg Indexの内容の確かさの確認(検証)方法について検討。

Copyright 2014 Toray Industries, Inc. All Rights Reserved. 42

- SACウェブサイト

<http://www.apparelcoalition.org/>

Access the
Higg Index

- Higg IndexのBrand Module、Facility ModuleのExcelファイルを誰でもダウンロードできます(要登録、無料)。
- SAC非会員のサプライヤがWebツールでHigg Indexのアカウントを作ってFacility Moduleを始めたい場合は、www.higg.orgにアクセスして、すぐに登録・開始できます。

- Nike Materials Sustainability Index (MSI)

<http://www.nikeresponsibility.com/infographics/materials/index.html>

- Higg IndexのProduct Moduleの元になっているものでProduct Module内容・操作方法をイメージできます。無料で誰でも使えます。
- スマホのアプリ版(Making)

<https://itunes.apple.com/us/app/id662227880>

<http://nikemakers.com/>

TORAY

Innovation by Chemistry

ご静聴ありがとうございました。

東レ株式会社 繊維GR・LI事業推進室
室長 佐々木 康次